

ONLY FOR ADULT ONLY
成人向
ONLY FOR ADULT ONLY

c h m a r o n i ?

綺羅星がごとく

が、ん

そんな窓辺で
寒くないのか？
ホロ——

寒い晩には
酒かっくらって寝る…
これが一番てっとり早い
寒さを忘れる方法だろ

で、窓から
何かいいものでも
見えたか

お、
やっと帰って
きたかや

ふむ…
わっちは狼の時は
星や光に色があるなどと
わからんかった

夜じゃというのに
人の目にはこれほど
色が溢れて
おるんじやな

ほう…！？
狼の方が目は良い
んじゃないのか
意外だな…

パン

ん



~~~~~!

ぽろっ

狼の姿でも夜に  
星が瞬いているのは  
見えておったように思う

ふむっ?



えッ

す~~~~

やっぱり人の体は寒い…  
ぬしがわっちの体温を  
あげてくりゃれ?

…冗談じゃ



す~~~~

さけられた!

両の世界を持たぬぬしに  
どう伝えれば良いのか  
わからんが…



なんか…  
落ち込んでる?



動くものや  
遠くを見る能力は  
狼の方が上じゃ  
と思うんじゃが—

それは  
そうだろうな



うーん、そうだな…  
よく熱された鉄は  
ものすごく赤いな

それに火も赤いし、  
燃えるようなと  
例えられる太陽  
だって赤い…



ぬしは熱に色が  
あることは  
知っておるかや



こう体をひどく  
熱くさせる酒も  
いわば赤じゃろう

…ふう

ふん

多分人は  
それをはじめから  
認識できるんじや



それから…



あっ

ちよっ

おれの…

ぽっ

わっちは  
この姿になって  
初めて色を知った  
狼はきつと  
色と言う概念が  
希薄なんじゃ

あれだけ  
よく見える目を  
持っていれば  
色を知らずとも  
得物は狩れるからの

しかしわっち自身  
人の姿と狼の姿で  
これだけ見ている世界が  
違うんじゃ

わっちとぬしでは  
見るものが全く  
別物なのかもしれん…  
どこまでもわかりあえん  
生き物なのかや…

お前のその赤く  
美しい目も  
流れるような  
亜麻色の髪も

わかりあえないと  
嘆くのは

いや…

わかりあいたい  
と思っ  
てく  
れ  
る  
か  
ら  
ー  
か

艶やかで鮮やかで  
お前と出会う人全て  
魅了しているはずだ



ああ、お前には  
見えないのか…

せめて水桶か  
映すもんがあれば…



くふ…  
いや

そんなことせずとも  
問題ありんせん



—ぐう…



んむっ！



知っておるかや  
動物は、異性の  
熟れた赤に  
欲情するらしい

同じ赤に  
発情しているならば  
わっちらは同じ色に  
反応していると  
言うことじゃないかや



ならばお前のこの  
赤い乳首は、俺を  
発情させようと  
誘惑してるんだな

ひゃっ

ふいに♡



やっ...

びん!

ぬ、ぬしよ



はっ  
はっ



びん!

ぬしっ  
や...  
やめ...ッ!

子のよう  
に弄ら  
んで  
くりや  
れ



わろ

わろ

この綺麗なピンクに  
さすがの俺も  
欲情せざるを得ない

乳は小ぶりだが  
こんな柔らかいのに  
美しい形をしているな





やっ  
やっ  
やめい

…乳は  
弱いんじゃ

耳びくびくしてる  
きもちいんだな



どうしたんだ？  
俺の顔より  
お前の顔の方が  
真っ赤だぞ

うゝゝ



ぬしのこころは充分  
すぎるくらい  
熟れておるようじゃの

え、ちよつ  
ホ、ホロ！  
おい！

ゴ

ホ

ロ

ッ

ッ



ちよ…っ  
深…ッ



狼の舌は  
どうかや？  
ぬしのちんこに  
よく這うじゃろ

くふ…  
びくびくして  
おるの



頼むッ  
いく前にお前の中に  
入れさせてくれ！

やばっやばい  
だめだホロ

そんなにしたら  
イツちまう！

やっ ふああ…ツッ！  
ぬしがわっちを割って  
入って……ツッ—！

ズッ

ズ

ズ

お前の中も  
がつつり赤く  
熟れてる  
じゃないか

あ…ツいやっ…  
はあ…！  
そ、そこ、ふかつ

俺を放すまいと  
きゆうきゆう  
絡みついてきてるぞ

そ…んな、  
中をかき回さ  
んでくりやれ

はげし…っ  
無理じゃ  
壊れてしまっ…





…やっ…  
ふあは…

ぽろっ  
ぽろっ

ひっく  
…うわああん



…ひ…っ  
そんなにしたら  
めくれ…ちや…ッ

スッ

スッ!



どうした？  
痛いのか？  
泣くなんて…

ぽろ  
ぽろ

—ッ  
…は…!

体なんていくら  
重ねたって  
この気持ちは  
伝えられん…!



体じゃ足りぬ…!  
人の姿になって尚も  
それでも、それ以上に  
わかりあいたいんじゃ…!

どんどん  
わっちやあ  
欲深くなる…

ホロ…

出来ることなら  
ぬしの目で  
世界を見てみたい


そこに何が写るか  
分かち合えれば  
わっちはもうひとり  
じゃなかるう？

ぬしよ  
ぬしよ…  
お願いじゃ

お前がもし  
俺の目で、お前の姿を  
見れるのならば—


わっちがこんな  
たわけた願いを  
望まぬように—

わっちが孤独を  
忘れるくらいに  
激しくしてくりゃれ？



お前が、俺から見  
て如何に魅力的に見えて  
るか  
よくわかるだろうよ

わかりあえないと  
わかっていても  
寄り添うことを  
願わずにはられない



あっあっ！  
ひあうん…  
…っツ！

ズ  
ツ  
ツ

ズ  
ツ  
ツ

ズ  
ツ  
ツ

…ぬ  
ぬしは…  
ほんつとに

たわけ  
じゃ…！

…んくう…  
あ…ふあ…！

動物が ぬくもり 赤  
を  
求めるように  
出来ているなら


個と個——  
それが人と狼で  
あったとしても  
このさみしさは  
きつとわかりあえる

ああっぬし…ツ…！  
もうだめじゃ…！ イクツ

二人だから  
抱き合える——  
この熱ならば、  
同じものを  
わかちあえるだろ？

…ツ！





綺羅星のごとく  
20090816 C76

chimaroni?  
ちまろ  
calamacs@yahoo.co.jp  
<http://sleepysheep.nce.buttabi.net/>

金沢印刷様

本書は成人向けにつき、  
18歳未満の方は購読できません  
無断で転載・複製、ヤフオク出品  
WEBへのアップロードなどをする事は  
ご遠慮ください

ONLY FOR ADULT ONLY  
成人向

chimaroni?  
2009summer

chimaroni?  
綺羅星がごとく

